

平成26年度 山科区運営の総括表

基本方針・重点方針	平成26年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考(課題・総括等)	所属等
1 環境を守り継ぐ	1 山科区2万人まち美化作戦の実施	参加者:約2万人	・参加者:16,554名 ・回収ごみ量:19.20t	例年同様、多くの区民に参加していただくことができた。	地域力推進室
	2 山科区エコアクションNo.1宣言事業の実施	次世代への環境啓発を促進するため、子ども達が遊びながら学べる啓発イベントを開催	環境イベント「エコを学び、エコで遊び」(平成26年9月13日) ・かえっこバザールの実施 ・「山科おやじフェスタ」と同時開催	児童館の協力もあり、多くの子ども達が参加して、エコの取組を啓発することができた。	地域力推進室
	3 「エコ学区」事業	冊子「山科ECO新聞」を参考に、各学区がエコの取組をさらに進められるよう支援	27年3月山科「エコ学区」ミーティングの実施し、その中で、「エコ学区活用報告会」を行い、各学区でエコの取組をされている方との相互交流を実施した。	エコ学区支援物品を活用して、学区でのエコイベントの取組を支援することができた。	地域力推進室 環境政策局
	4 山科区フラワーロード推進事業の実施	花苗植数:6,000株	・花苗植数:5,190株 (うち1,200株を仙台市の仮設住宅へ贈呈)	区役所前、東部文化会館前花壇、JR山科駅前スタンディングバスケットが四季折々の花で彩られたとともに、仙台市の仮設住宅住民からも喜んでいただいた。	地域力推進室
	5 山科区民花の回廊募金の実施	東山自然緑地の公園にヤマザクラを植樹	東山自然緑地の公園にヤマザクラ(2本)を植樹	引き続き、区内にサクラなど様々な花を植栽していく。	地域力推進室
2 まちの魅力・観光を磨く	1 やまなしY級グルメ第2弾～山科野菜もっと広め隊事業～	山科の野菜を広めるための取組を行う。また、これまで認定した「やまなしY級グルメ」のさらなる情報発信・普及	山科産の野菜の更なる普及・促進を図るため、野菜の生産者、販売場所等を紹介する山科野菜ガイドの作成等の事業を実施した。 ・山科野菜ガイド(全16ページ)発行部数:7,000部	冊子等を活用し、山科の野菜の情報発信・普及に努める。	地域力推進室
	2 山科・感動ツーリズム推進事業	山科の観光資源・地域資源のさらなる掘り起こし、磨き上げを実施	地元住民と行政、交通事業者、旅行会社等との協働の下、山科地域の潜在的な観光資源の掘り起こし、磨き上げ、発信を行い、山科地域の観光振興を図るとともに、京都観光の地域的な分散化や地下鉄東西線の乗客増を図る。 ・毘沙門堂紅葉ライトアップ(平成26年11月15日～30日)、やまなし大冒険(計11プログラム)、感動!やまなしまるごとマルシェ(計3回)等のイベントを実施。 ・毘沙門堂ライトアップ来場者数:10,012人	実施によって、地下鉄増客や山科の地域振興・観光振興に寄与し、また、今年度は、やまなしまるごとマルシェなど地域の事業者を巻き込んだ事業も実施することができた。	地域力推進室、産業観光局、都市計画局、交通局
	3 京都・やまなし観光ウィークの実施	前年度を上回るイベントの参加者数(有料入場者)	10月から12月までの区内でイベントが集中する期間を「観光ウィーク」として設定し、この期間内のイベントを区内外に広く周知する事業として実施した。	区内のイベントや魅力の周知を図ることができた。今後も、山科の観光情報や、魅力を多くの様々な手法を活用し、発信していく。	地域力推進室
	4 ふれあい「やまなし」区民ふれあい文化祭の実施	文化祭の実施による区民の相互交流の促進	「区民ギャラリー」 入場者数延べ:約600人、出展作品:206点 「区民芸能フェア」 入場者数延べ:3,300名、出演者:約500名	実施により区民の相互交流が図られた。	地域力推進室
	5 ふれあい「やまなし」区民史跡(山科の魅力探訪)の探訪の実施	山科区内の歴史的・文化的で魅力のあるコースを設定	台風の接近により中止(申込者数:57名)	更に広報の方法を改善して、参加者を増やす取組を実施する。	地域力推進室
	6 「大好き!やまなし魅力発信プラットフォーム」の運営	参加者数と発信件数の拡大及び交流会の実施	参加者:95名 発信件数:364件 (H26.3月末)	参加者数と発信件数の拡大のため、区役所としても魅力のある情報発信に努めていく。	地域力推進室
3 交通・都市基盤を強化する	1 小金塚地域の安心・安全なまちづくりの推進	私道移管の支援 特に、バス路線導入予定箇所の移管取組の推進	移管を支援し、早期の公共交通導入に向けた取組を推進	公共交通導入に向けて大津市をはじめ、バス事業者等の関係機関との協議を進めていく。	地域力推進室
	2 山科区地下鉄駅周辺おでかけマップの作成	ダイヤ改正に伴うマップ修正にも対応できるようマップを再構成する。	ダイヤ等の改訂に伴い時刻表等を改正し発行 ・発行部数:3,000部	マップの需要状況を勘案し、今後の発行の是非も含めて検討を要する。	地域力推進室
	3 山科区の交通問題の改善に向けた取組	取組の充実	平成25年3月23日から京阪バスによる鏡山循環系統バスが実証運行してきたが、鏡山自治連合会と区役所が連携して「地域と連携したM事業」に取り組んだ結果、平成27年3月23日から本格運行が実施された。	引き続き、山科区の既存及び新交通システムの改善方策について、関係機関と協議を進めていく。	地域力推進室、都市計画局、交通局、(京阪バス)
4 保健・福祉・子育て支援を充実させる	1 健康づくりサポーター(キャットハンズ)とウォーキング	山科区民を対象としたウォーキングを年間4回開催する。	ウォーキングを4回開催 ・参加者:135名	魅力あるコースと開催時期を考慮して更なる参加者増を目指す。	健康づくり推進課
	2 やまなしっこひろばの実施	区内4か所の公園で年2回継続実施する。	・参加者数 5月実施分 (子)76名(親)73名 10月実施分 (子)79名(親)75名	対象者への周知がより一層必要である。	支援課
	3 山科区フリースペースの設置・運営	全学区での設置を目指す、26年度は6か所の増設を検討する。	4か所増設し、8学区10か所で展開	より身近なところで参加してもらえよう、フリースペースの増設を図る。	支援課
	4 介護保険事業の適正かつ円滑な実施	引き続き窓口等で丁寧な説明に努めるとともに、保険料の徴収率の向上と適正な要介護認定・保険給付に努める。	窓口や電話で制度、手続の丁寧な説明に努め、様々な取組により徴収率(H26 97.99%)の向上と適正な要介護認定・保険給付に努めた。	徴収率向上のため、さらなる制度周知を図る。	福祉介護課
	5 福祉医療に係る事務の適正かつ円滑な実施	引き続き制度の周知を図り、適正かつ円滑な事務の実施に努める。	市民しんぶん区版への掲載、チラシやポスターによる制度の周知に努め、適正かつ円滑な事務を実施	対象者に対し、さらなる制度周知を図る。	福祉介護課
	6 地域福祉推進委員会活動の充実	「区委員会」のあり方が検討されている中、区社協との役割分担を明確にし、地域福祉の向上を目指す。	「本委員会」2回、「作業部会」4回、「事務局会議」適宜、「山科区の地域福祉を考える集い」1回を開催	都(みやこ)・地域福祉推進指針2014に基づき、区社協との連携強化に努める。	支援課
	7 「京都市山科区要保護児童対策地域協議会」の適切な運営	「代表者会議」、「実務者会議」、「個別ケース検討会議」の実施により顔の見える関係作りを大切にし、児童虐待防止に努める。	「代表者会議」1回、「実務者会議」4回実施。 「個別ケース検討会議」も頻りに開催され担当者が参加	関係機関との日常的な連携協力関係構築に努める。	支援課
	8 地域包括支援センターの活動を支援	活動の中核となる「運営会議」を充実し、各センターのレベルアップを図る。	・日常生活圏域レベルの地域ケア会議に向けて「あり方検討会」を開催し、「運営協議会」においても、理解・協力を得た。 ・年に2回実施する「運営協議会」においては、各包括の課題の共有と検討を中心に行なった。 ・「学区レベルの地域ケア会議」は各学区約2回は開催できている。 ・5包括センター会議を1回開催出来た。	「運営協議会」では、各包括の課題を共有のみで、今後に向けた、展望を持った取り組みが困難である。 ・「日常生活圏域レベルの地域ケア会議」開催への支援を実施する。	支援課

4 保健・福祉・子育て支援を充実させる	9 東部障害者地域自立支援協議会活動の充実	26年度は会長区として、協議会の運営に責任を持って、取り組む。	毎月の「運営会議」「専門部会」に積極的に参加した。来年度に向けて新たな専門部会の必要性を提案し「児童専門部会」を新設する事が出来た。・研修会等の企画や参加に積極的に取り組み、専門知識のレベルアップ出来た。	東部圏域でのさらなるネットワークの構築に努めるとともに、問題の多様化や高齢化に対応出来る為に、地域包括支援センターとの連携を図る必要がある。	支援課
	10 国民健康保険事業等の適正で円滑な運営	信頼される丁寧な窓口対応、保険料徴収率の向上、適正な資格賦課及び保険給付を実施	窓口や電話で制度、手続の丁寧な説明に努め、様々な取組により徴収率(H25:89.58% H26:90.66%)の向上と適正な要介護認定・保険給付に努めた。	徴収率向上のため、さらなる制度周知を図る。	保険年金課
	11 訪問相談指導、乳幼児健康診査の実施、促進	母子保健事業の充実	乳児健康診査(4か月健診46回実施・1031人受診、8か月健診48回実施・973人受診、1歳6か月健診36回実施・963人受診、3歳健診33回実施・1013人受診)、訪問相談実施数1020件	受診率向上に向けて、未受診者への対応を充実させる。	健康づくり推進課
	12 相談対応やパパ・ママ教室などの子育て支援の充実	パパ・ママ教室や親子健康づくり講座の定期的な実施	○プレパパ・ママ教室(計18回開催) ・参加者数:158名 ○親子の健康づくり講座(25回開催) ・参加者数:751名 ○ベビーマッサージ教室(12回開催) ・参加者数:45組	教室により勤業の仕方も様々であるが、必要な人を利用してもらえるように取り組む。	健康づくり推進課
	13 こころのふれあいネットワークの実施	各種フォーラムの開催	○山科こころのふれあい夏まつり(平成26年8月11日開催) ・参加者数:303名 ○こころの健康サポーター講座(平成26年10月10日、31日開催) ・参加者延べ数:28名 ○精神保健福祉シンポジウム(平成27年1月14日開催) ・参加者延べ数:105名	内容を工夫し、参加者を増やすことで、精神障害者に対する正しい知識の普及、啓蒙を図る。また、地域住民との交流が図れるように取り組む。	健康づくり推進課
	14 感染症対策の充実	取組の実施	エイズ相談(10件)・HIV抗体検査(160件)、肝炎ウイルス検査(256件)、BCG予防接種(958件)	検診等による早期発見につながるよう、日々の機会を捉え、また、それぞれの普及啓発期間には、より一層工夫して検査の普及に努める。	健康づくり推進課
	15 たばこによる健康被害についての啓発や禁煙指導の推進	禁煙(防煙)教室の開催と個別相談の実施	防煙教室の開催(2回実施。勤修中・花山中学校)、個別禁煙相談・禁煙支援の取組実施(第2・4金曜日)	胸部検診等の機会を捉えて相談者が増加するよう、禁煙相談・禁煙支援の普及啓発に努める。	健康づくり推進課
16 がん検診の実施・利用促進	受診率の向上	がん検診の周知と実施 ・検診受診者数 胃がん:568名、大腸がん:946名、乳がん:1,843名、肺がん:1,801名	受診率向上に向けて、受診機会の拡大と更なる広報の充実を努める。	健康づくり推進課	
5 地域のつながりを強める	1 災害に強いまちづくりの推進	台風18号による災害の教訓を踏まえた防災・減災対策を関係機関と連携し、地域との協働で推進するとともに、平成27年3月までに全避難所における「避難所運営マニュアル」を作成	区内13学区の全避難所(32か所)で避難所運営マニュアルを策定した。	27年度は土砂災害に係るハザードマップを区内13学区で作成する。	地域力推進室
	2 一目でわかる防災情報(山科版)の作成	大規模災害発生時に迅速かつ円滑な避難を行うために、日頃から備えておくことや、避難所などの位置をわかりやすくまとめ、情報発信する。	区内避難所及び広域避難場所の位置図、地震・水害への対応、非常持出品や災害用伝言ダイヤルの使い方を記載した折り込みを58,000部作成し、平成26年9月15日発行の市民しんぶん(山科区版)とともに区内各戸に配布した。	26年度に作成した避難所運営マニュアルの実践的検証や土砂災害に関する研修を行うとともに、区独自で区内避難所に避難所運営資器材を配備する。	地域力推進室
	3 山科“きずな”支援事業	地域団体・大学等との協働によるまちづくりの更なる推進	区内で活動する団体に、以下のとおり、支援を行った。 ・申請事業数:49件 ・補助金交付決定事業数:42件 ・交付予定額:7,864千円	多くの事業を支援できた。今後は、講座など、資金面以外でも、区民のまちづくり活動への支援を充実していく。	地域力推進室
	4 区民サービスの向上	“きょうかん”ミーティングの実施、各種研修の充実	“きょうかん”ミーティングの実施、各種研修の実施・参加	窓口職場、外勤職場においては、全員参加のミーティング・研修を実施することは困難であるが、グループごとに複数回実施するなどの工夫を行い、多くの職員が参加できるように努める。	全課共通
	5 やましなGOGOカフェの運営	まちづくりに関心のある区民同士が出会い交流を深め、行動のきっかけとなるような場を目指す。	計6回開催 ・参加者:199名(延べ人数)	多くの参加者同士のつながりを作ることができた。引き続き、区民が出会い、行動のきっかけとなる場として、開催していく。	地域力推進室
	6 山科カレッジのオープン	受講者が山科の歴史・文化・産業等の資源を知り、体験できるような区民向け講座を開催する。	京都橋大学との共催により、山科の歴史、文化、産業等を学び、体感していただける講座(計6回)を開催。 ・参加者数:217名(延べ人数)	今後も連携協定を締結した京都橋大学や京都薬科大学等との協働により、区民向けの講座等を企画していく。	地域力推進室
	7 「第2期山科区基本計画」の推進	山科区民まちづくり会議の運営等による推進	山科区民まちづくり会議の運営等によって推進を図った。(H26年8月8日、H26年12月4日開催)	第2期山科区基本計画のさらなる推進を図る。	地域力推進室
	8 獣害対策チームの運営	獣害対策チーム、関係機関と連携して獣害被害を軽減する。	・獣害防除物品貸出しの継続更新 ・檻及び銃器による捕獲 ・獣害対策チーム会議の開催	26年度も25年度と同様、出没通報は少ない傾向にあったが、通報が減少した翌年が増えている時期もあったので、引き続き、獣害の取組を継続する必要がある。	地域力推進室 文化市民局 産業観光局
	9 生活安全条例に基づく施策の推進	学区の安心安全ネット継続応援事業の実施:全13学区	学区の安心安全ネット継続応援事業の実施:全13学区	パトロール物品の購入等に助成したことで、学区の防犯活動に寄与することができた。	地域力推進室 文化市民局
	10 ふれあい“やましな”区民まつりの実施	ステージ発表、啓発コーナー、模擬店の充実	占有範囲が縮小する中で、安心安全でエコなイベントを開催できた。 ・参加者数:約18,500名 ・出店ブース数:41ブース ・出演団体数:14団体	参加希望団体が増加する中で、できる限り多くの方に参加していただくための検討が必要である。	地域力推進室
	11 適正な選挙事務の執行	投開票事務の適正な執行体制の強化を図る。	投開票事務の効率化を図り、円滑な進行管理に努めた。	-	地域力推進室
	12 個人情報の保護を基本とした円滑な行政サービスの提供	個人情報の保護に万全を期すとともに、的確で迅速な事務処理、親切丁寧な対応に努める。課内会議、研修等により更なるサービス向上を図る。	個人情報の保護に万全を期すとともに、的確で迅速な事務処理、親切丁寧な対応に努めた。課内会議、研修等により更なるサービス向上を図った。	-	市民窓口課
	13 市税についての市民への説明責任の徹底と適正・公平な課税及び徴収の推進	市民に分かりやすい情報提供、適正課税、徴収率向上、個人情報の適正管理の推進	丁寧でわかりやすい窓口・電話対応の実施、徴収率の向上に向けた取組を実施した。	滞納整理の早期着手を行い、滞納繰越額の圧縮を進め、93.9%(H25:93.2%)に徴収率を向上させた。	行財政局
	14 食の安心・安全の確保と区民への的確な情報提供	食品表示監視の徹底	平成26年度京都市食品衛生監視指導計画に基づき、飲食店営業施設に対し延べ680回、販売及び製造施設に対し延べ676回、届出営業施設に対し延べ301回の監視指導を行った。また、年間を通じ19回、499人に対し食品衛生講習会を実施した。	食品に係る苦情及び事故は年間を通じて散見され、今後も継続して監視指導の強化及び衛生意識の普及に努める。	衛生課
	15 動物愛護とペット飼育マナーの向上	啓発活動の実施	犬や猫を中心としたペットの飼育マナーや動物愛護について飼い主等へ指導、啓発を実施した。また、苦情等に対応し、546件の啓発指導を実施	今後も苦情件数を減少させるため、さらなる啓発活動に努める。	衛生課